



### 点在する文化施設 その現状と課題

留萌市には、ゾーニングを行なった2地区以外にも、東部地区公民館、幌糠地区公民館、総合福祉センター、共同福祉センター、働く婦人の家、保健福祉センター「はーとふる」、農村交流センター「こさえーる」のほか、ぎやらりアカシヤをはじめとする民間による展示施設など、文化、学習活動が可能な施設が数多くあります。

これらは、いずれも市民に身近な施設であり、多種多様な文化、学習活動に対するニーズに応えるため、さらなる機能強化など積極的な整備を進めて行か

なければなりません。

また、「教育文化ゾーン」「海辺の文化ゾーン」とのネットワーク化を図り、施設の機能を強化する必要があります。

また、平成13年度に改築された北光中学校には、コンピュータ教室、陶芸室、茶室、調理実習室が設けられ、地域住民が通年利用可能な状況にあることから、完全学校週5日制に対応する活用など、その活用促進に努める必要があります。

加えて、市内には倉庫や空き店舗あるいは小中学校の余裕教室など再利用可能な施設が数多く存在しますが、これらの施設については、再整備により文化学習活動の場としての活用を検討する必要があります。



### 全てを取り揃えた 新たな複合的施設

『文化施設整備基本構想』では、「多目的に利用できる新たな複合施設の実現」を基本目標に掲げています。

この施設像として、①留萌独自の文化を感じ取ることのできる象徴たる施設、②ありふれたものではなく、観光資源としても機能する施設、③市民が誇れ、その文化を後世に引き継ぎ、さらに、市民の文化的創造力を高めていける施設としていきます。この新たな施設の立地箇所として海辺の文化ゾーン内を想定していましたが、適地の確保が困難な状況にあること、また、

膨大な負担を伴うことから、今の留萌市の財政状況では、このゾーンへの新たな施設の立地は断念せざるを得ない状況にあります。

一方、平成14年3月に策定した「留萌市中心市街地活性化基本計画」では、開運町2丁目、3丁目の一部及び錦町2丁目、3丁目の一部のエリア約7haを「重点地区」に指定し、重点地区内に、交流やにぎわいの核として、経済センター等地域産業経済施設や公益機能、多目的ホールや留萌出身の著名人ギャラリ、屋内・屋外イベントスペース、情報発信機能などを備えた複合施設(トレーディングセンター(仮称))を整備することが提案されています。



このため、基本構想で想定する要素を全て取り揃えた施設は、トレーディングセンターに備わる機能とかなりの部分において重複することから、中心市街地活性化基本計画の推進に歩調を合わせながら、求められる新たな複合施設の整備について検討していくこととしました。

| 既存施設の機能充実と活用           |  |         |
|------------------------|--|---------|
| 対象施設                   | 整備内容   | 整備年度    |
| 留萌市中央公民館               | 自動ドア設置、身障者用スロープ・トイレ設置、外壁塗装など                           | H 15～16 |
|                        | 小ホール改修、自家発電装置改修、暖房用ボイラー改修など                            | H 17～   |
| 留萌市文化センター              | 屋上防水、自動ドア設置、舞台床改修、外壁塗装など                               | H 14～16 |
|                        | 座席改修、内装改修、冷房設備設置、音響設備改修など                              | H 17～   |
| 市立留萌図書館                | 蔵書の充実、各種資料保存の一元化、運営ボランティアの活用                           | H 14～   |
| 留萌市海のふさと館              | 常設展示内容更新、窓サッシ改修  | H 14～16 |
|                        | 窓サッシ改修、屋上防水など  | H 17～   |
| 旧留萌佐賀家漁場               | 専門家を含む整備検討委員会の設置、整備実施計画の策定                             | H 14～16 |
|                        | 関連施設用地買収、収蔵公開施設建設など                                    | H 17～   |
| 留萌市東部地区公民館             | 大規模改修あるいは現施設の廃止による新たな施設の配置を検討する                        | H 16～   |
| 留萌市幌糠地区公民館             | 大規模改修あるいは現施設の廃止による新たな施設の配置を検討する                        | H 17～   |
| 働く婦人の家総合福祉センター共同福祉センター | 留萌市中心市街地活性化基本計画に注目しながら、大規模改修あるいは現施設の廃止による新たな施設の配置を検討する | H 17～   |
| はーとふるこさえーる             | 文化活動に対応可能な機能のPRに努め、活用促進を図る                             | H 14～   |
| 北光中学校生涯学習施設            | 地域住民の生涯学習活動の拠点施設として、活用促進を図る                            | H 14～   |
| ぎやらりアカシアアトリエ交流プラザ      | 各施設の持つ機能を情報発信し、活用促進を図る                                 | H 14～   |
| その他の施設                 | 市内の倉庫や空き店舗あるいは小中学校の余裕教室などを文化・学習活動の場としての活用を検討する         | H 14～   |



### 行政の役割は 文化環境の整備

文化施設の整備を進めるにあたって、施設を持つ機能についての情報発信、各地域に分散する文化施設のネットワーク化、市民の望む文化、学習活動の把握など、行政全体が文化的な視点を持ち、文化振興に取り組むための推進体制を充実する必要があります。

行政の文化化とは、行政のあらゆる分野を文化的視点から見直し、個々の施策の中に文化性(人間性、地域性、創造性、美観

性などの質的な観点を積極的に取り入れることです。その施策を実現する行政においては、

- ・ 情報公開の推進
- ・ 多様なメディアや機器を活用した広報広聴機能の拡充
- ・ 庁舎や関連施設を絵画や音楽のある憩いの空間にする
- ・ わかりやすい用語、表現を使用する

—といった「親しまれる役所づくり」など、文化的視点から見た改革が求められており、それは施策の中に積極的に文化性を取り入れるために不可欠なことと言えます。



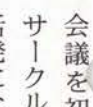
### 文化関連団体の 活発な活動

文化施設の整備に向けては、文化に関する多様・多彩な活動を最大限に保障することが必要となります。

この前提としては、市民一人ひとりの文化意識の高まりとともに、これら個人々に模範を示すためにも、文化関連団体の活動の盛り上がりが必要不可欠です。

留萌市における文化関連団体の活動としては、NPO法人留萌市文化会議やその加盟団体の活動を中心に、地域で多様な活動を主体的に進めている町内会、子ども会、老人クラブなどの地域団体のほか、商工会議所、青年会議所などの職域団体などによる「文化」「芸術」「レクリエーション」などの文化活動があります。

多種多様な目的をもった草の根的な文化活動は、社会的な必要性と相まって、今後ますます増加することが予想されます。そのため、これら各種団体の自主性・自発性を尊重しつつ、各団体間あるいは行政とのパートナーシップの構築や役割分担の具体化などを図り、留萌市文化



### 市民が取り組む 多様な文化活動

文化施設の整備は、市民の取り組む多様な文化活動と表裏一体のものであり、その活動状況によっては、施設整備のあり方、あるいはその施設に必要な機能が大きく異なることとなります。



### あなたが望む 文化的環境とは

この数年、少しずつ「生涯学習」が市民権を得てきています。そしてこの計画により、さらに生涯学習が進むことが予想されます。

スポーツ、文化、趣味、レクリエーション、ボランティアなど、毎日の生活そのものが生涯学習と言えます。

たくさんの選択肢の中から、自分にあつたテーマを選び、それを生涯学習としたとき、あなたが、そしてるも市民が文化的活動をより快適に行える環境を、市民全員でこれからも考えていかなければならないのです。

「留萌市文化施設整備基本構想」「留萌市文化施設整備基本計画」に関するお問合せは…

**留萌市教育委員会**  
生涯学習課まで

☎ 42・0435  
FAX 43・6312

